

N2

解答

問題1 _____の言葉の読み方として最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

1 先生に貴重な資料を見せていただいた。

- 1 きじゅう ☒ 2 きちょう 3 きっじゅう 4 きっちょう

2 その話を聞いて、とても怪しいと思った。

- 1 むなしい 2 くやしい 3 おかしい ☒ 4 あやしい

問題2 _____の言葉を漢字で書くとき、最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

3 友人を家にまねいた。

- 1 伯いた ☒ 2 招いた 3 泊いた 4 召いた

4 この商品は安全性がほしょうされている。

- 1 補証 2 保正 ☒ 3 保証 4 補正

問題3 ()に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

5 男女の結婚()の違いについて調べた。

- ☒ 1 観 2 識 3 念 4 察

6 ここでは()水準の医療が受けられる。

- 1 頂 2 上 ☒ 3 高 4 特

問題4 ()に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

7 この大学では一般向けの講座を開き、社会に学習の場を () している。

- 1 選出^{せんしゅつ} 2 提供^{ていきょう} 3 指示^{しじ} 4 寄付^{きふ}

8 今年の夏は暑さが厳しく^{きび}、仕事から家に帰ると疲れて () してしまう。

- 1 ぐったり 2 しっかり 3 すっきり 4 ぎっしり

問題5 _____の言葉に意味が最も近いものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

9 高橋^{たかはし}さんはとても愉快な人だ。

- 1 面白い 2 おしゃれな 3 親切的な 4 かわいい

10 それは確かにやむをえないことだと思う。

- 1 もったいない 2 なさけない 3 つまらない 4 しかたない

問題6 次の言葉の使い方として最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

11 延長

- 1 悪天候で列車が運転をやめたため、旅行の出発が三日後に延長された。
2 初めの設計では2階建てだったが、3階建ての家に延長することにした。
3 予定の時間内に結論が出ず、会議が1時間延長されることになった。
4 電車の中で居眠りをして、降りる駅を一駅延長してしまった。

12 さびる

- 1 暑いところに生^{なま}ものをずっと置いておいたら、さびて臭^{くさ}くなった。
2 昨夜は雨が相当降ったらしく、普段はきれいな川の水がさびて濁^{にご}っている。
3 鉢^{はち}に植えた植物に水をやるのを忘れていたら、花がさびてしまった。
4 この鉄の棒^{ぼう}はずっと家の外に置いてあったので、さびて茶色くなっている。

問題7 次の文章を読んで、文章全体の内容を考えて、13 から 17 の中に
入る最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

以下は、雑誌のコラムである。

日本発のトイレマーク

公衆^{こうしゅう}トイレの入り口に^か描かれている男女の絵のマーク。そのマークがあれば、文字で「トイレ」と書かれていなくても、そこがトイレであることがわかる。世界のあちこちで使われているこのトイレマークが実は日本で生まれたものだということを 13

トイレマークが生まれたのは、1964年の東京オリンピックがきっかけだ。この東京オリンピックは、アルファベットを使わない国での初めての開催であったため、特に問題になったのが、言葉の壁だった。当時、日本国内の案内板は「お手洗い」などと日本語で書かれているものがほとんどだった。 14 それでは世界90数か国から来日する選手たちに理解してもらえない。かといって、参加国すべての国の言葉で書くわけにもいかない。そこで、案内板作成者たちは、あらゆる国の選手が理解できるよう、絵で表すことを考えた。 15 トイレマークなのだ。

そのほかにも、食堂、シャワー、公衆^{こうしゅう}電話等の施設や設備を表すマークや、水泳、バレーボール等の競技を表すマークも作られた。競技を表すマークは、この東京オリンピックで初めて全面的に導入され、高い評価を受けた。そして、その後のオリンピックでもデザインを変えながら毎回 16。

トイレマークに代表されるように、東京オリンピックをきっかけに日本で生まれたマークが、言葉の壁を越え、今や新たなコミュニケーション手段として、世界に広がっている。それは、あらゆる人にわかりやすくという思いが世界に届いた 17。

13

- | | |
|-----------|---|
| 1 ご存じなわけだ | <input checked="" type="checkbox"/> 2 ご存じだろうか |
| 3 ご存じのようだ | 4 ご存じだからだろう |

14

- | | | | |
|-------|---|-------|----------|
| 1 それに | <input checked="" type="checkbox"/> 2 しかし | 3 または | 4 それどころか |
|-------|---|-------|----------|

15

- | | |
|--------------|--|
| 1 作成者が理解したのは | 2 日本で考えられたのが |
| 3 ここに生み出したのは | <input checked="" type="checkbox"/> 4 こうして生まれたのが |

16

- | | |
|---|------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1 使用されている | 2 使用した点だ |
| 3 使用していける | 4 使用したいものだ |

17

- | | |
|---|-----------------|
| 1 結果として表れるかもしれない | 2 結果のはずだった |
| <input checked="" type="checkbox"/> 3 結果に違いない | 4 結果でなければならなかった |

次の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

以下は、あるデザイナーの書いた文章である。

私のアイディアのもとには、自分の生きてきた道の中にすべて詰まっているのだ、というふうに思っています。いままで生きてきた中で、感動したことを現代に持ち帰ってくる。過去の中で感動したことをコピーして、それをデザインしているのです。アイディアはいつも人から、時代からもらう。自分で考え出すことは少ないのです。

私は、感動したときのシーンはよく覚えています。色も匂いも形も光も季節も、そのときの景色も、そのときその場に誰^{だれ}がいたかも、何を食べたかも、思い出の中に鮮明に刻み込まれています。感動すると、それくらい記憶装置が自動的に働いて、すべてを映し込んでいるのです。

(中略)

中学の頃^{ころ}のこと、高校のあのとき、社会人になったときのこと、妻と旅をしたときの情景などいろいろなシーンが思い出されて、それを遡^{さかのほ}って切り取りにいくわけです。

けれどもそれが、もやーっとしたものだ^(注1)と切り取れない。なぜ、もやーっとするかと言えば、心の底から感動していないからです。しっかり感動していないと、持ち帰れないのです。

感動は、自分の力だけでなく、親の力だったり、友だちの力だったり、ほかの人の力によってもつくられています。子どものときから大事に育てられたとか、自分を包んでくれる街がきちっと大人たちによって美しく保たれていたとか、そういう周囲の力でつくられている場合もあるわけです。

そうした感動の思い出を大切に持ち帰ってきて、いまあるものとコラボレーション^(注2)すると、新商品が生まれます。そういう意味では、まるっきりの新商品^(注3)なんてあり得ません。アイディアはいつも、そんな過去の「感動の森」の中から探し出してくるものなのです。

いい思い出がたくさんあるかどうか、いい人に会ったかどうか、美味しいものを食べたかどうか。そういうヒト・コト・モノとのよき思い出の引き出しをどれだけ持っているかによって、アイディアの湧^わき出る量^(注4)は変わります。

(水戸岡鋭治『あと1%だけ、やってみよう—私の仕事哲学』集英社インターナショナルによる)

(注1) もやーっとした：はっきりしない

(注2) コラボレーションする：ここでは、組み合わせる

(注3) まるっきりの：全くの

(注4) 湧き出^わる：ここでは、生まれてくる

18 感動したことを現代に持ち帰ってくるとは、どのようなことか。

- 1 感動したシーンを人に語る。
- 2 感動した記憶をデザインに生かす。
- 3 過去に流行したデザインをコピーする。
- 4 人が感動したことからデザインのヒントをもらう。

19 感動について、筆者の考えに合うのはどれか。

- 1 感動は周囲の力でしかつくられない。
- 2 感動したことは年を取るにつれて思い出せなくなる。
- 3 周囲の力でつくられた感動は記憶に残りやすい。
- 4 心の底から感動したことは鮮明な思い出となる。

20 アイディアについて、筆者はどのように考えているか。

- 1 記憶力が強いほど、アイディアが生まれやすくなる。
- 2 他人の力を上手に利用することで、アイディアが商品につながる。
- 3 感動した思い出が豊富であるほど、多くのアイディアが生まれる。
- 4 感動をヒト・コト・モノに分けて考えると、いいアイディアが生まれる。